

高冷地から暖地まで、露地、マルチ、トンネルの作型で幅広い栽培適応性を持つ春播き総太り青首大根「喜太一」を弊社では今春より新発売いたしました。極晩抽性で、ひげ根が細く、根形の揃いが特に良く、規格内収量の多い初夏～夏どりとして大好評を得ています。

今回、北海道、東北及び九州の産地から弊社、営業マンが栽培事例をルポしてきましたので、ここにご紹介いたします。 〈編集室〉

## 北海道大樹町における 春播き大根「喜太一」の 栽培事例

＝北海道広尾郡大樹町  
J A 大樹町＝

大樹町は帯広市より車で南に1時間余り離れた、太平洋に接する十勝南部に位置し、十勝中央部に比べても更に冷涼な気象条件を備え、酪農中心の町です。雪印乳業(株)大樹工場もあり、ご存じ「雪印のカマンベールチーズ」はここから全国へ送られています。

### 1 J A 大樹町の概要

J A 大樹町は昭和23年に設立され、現在は組合員392名、耕地面積9,938ha(畑作2,138ha、飼料作物7,635ha、野菜165ha)、畜産販売額69億円、農産物販売額19億円となっております。農畜産販売高100億円以上を目指し、酪農を核として畑作類に地帯条件に適した園芸作物(大根等)を組み入れ、独創の大樹農業の確立と農協運営を組合員、職員一丸となって行なっています。

### 2 「大樹だいこん」の取り組み

近年、野菜の産地は労働力、土地利用、病害等の関係から移動し、特に根物を中心に十勝地方へ移ってきました。そのような中、大樹町の冷涼な気象条件を生かして、大根の作付けが昭和63年より始まりました。

部会組織もでき、夏場にも安定出荷ができ、品質が良いため、本州大都市市場においても「大樹だいこん」ブランドは大変好評となりました。さ

らに、平成5年には漬物大根処理施設を完成し、青首だいこんの浅漬加工を商品化、今までになかった新感覚の漬物として好評を博しております。

また、土づくりや連作、病虫害回避のため、線虫対策「ヘイオーツ」、種子馬鈴しょ隔離のための「トチユタカ」等の緑肥を部会で積極的に導入し、大根などの品質向上に努めています。

### 3 「喜太一」導入の経緯

ここ数年、A社の品種などを作型に入れていましたが、発芽、内部障害、商品の外観等の問題などがあり苦慮していました。そこで安定的に収量の上がる「涼太」を除いて、品種、播種時期を大幅に見直し、試作結果が数年良好であった品種「喜太一」の導入に踏み切りました。

### 4 「大樹だいこん」の平成8年作型

「大樹だいこん」の播種、収穫期及び栽培品種

表1 平成8年度だいこん栽培計画(大樹だいこん)

○播種と収穫期間

- 1) 播種日：4月25日～7月31日
- 2) 収穫日：6月25日～10月5日  
※生育日数：50日～65日

○栽培品種

株間	品種名	作型	播種期間	収穫期間
23cm	品 種 A	べたがけ マルチ	4月25日～ 5月15日 20日間	6月25日～ 7月15日
	喜 太 一	マルチ	5月16日～ 5月31日 16日間	7月16日～ 7月31日
		銀ネズ	6月1日～ 6月20日 20日間	8月1日～ 8月20日
	RA-127	べたがけ シルバー	6月21日～ 7月5日 10日間	8月21日～ 9月5日
	品 種 B	べたがけ シルバー	7月6日～ 7月15日 10日間	9月6日～ 9月15日
	涼 太	シルバー	7月16日～ 7月31日 16日間	9月16日～ 10月5日
合 計	べたがけ ～露地	4月25日～ 7月31日 92日間	6月25日～ 10月5日	

計画は表1のとおりです。

## 5 「喜太一」の本年の評価

今年の十勝地方の気象状況は春夏とも非常に悪く、桜の咲く5月は低温となり、2度も降雪がありました。また、6、7月と毎日が曇天日照不足で、農作物も小麦豆類をはじめ、悪い作況となっております。野菜類も抽苔、生理障害、病害虫等の問題が発生し、例年以上に気の休まらない年となりました。

このような中、今までの使用品種が「ヒゲ根」「曲がり」「ス入り」等の点で歩留まりが悪かったことに比べ、「喜太一」は青首の着色が弱いものの、「曲がり」「ヒゲ根」が少なく、「揃い」が良く、生産者に歩留まりが良いと評価され、外観の良さから市場からも高い評価を得ました。また、漬物用としての特性も良好でした。

## 6 来年に向けて

今年の作型は初めての作型であり、異常気象のもとではありましたが、色々と問題がありました。

来年度に向かって、原因の追求、反省により、品種の使用時期、品種に合った肥培管理方法、播種方法、土づくり等の見直しの研修を部会で予定しております。また、微力ながら弊社もいろいろとバックアップして参りたいと思っております。

## 7 おわりに

数来年、大根の価格の低迷、労働力問題等で、「大樹だいこん」の作付け面積は減少傾向にあり



写真1 出荷を待つだいこん「喜太一」

ます。しかし、大根栽培の適地であること、青果のほか漬物加工で付加価値を高めていること、隣町の十勝港の整備が完成し、首都圏へ27時間でカーフェリーの物流が可能になったこと等を考えると、大樹町は野菜産地として好適な立地条件を備えており、将来に向け多大な可能性を秘めています。

今後とも、「涼太」「喜太一」を含め、弊社の大根、他野菜種子や緑肥種子を積極的に利用いただき、安全でおいしくて、安定的な野菜産地として更に発展いただきたく祈念しております。

(雪印種苗㈱ 帯広営業所 金村公仁)

# 青森県下田町における 春播き大根「喜太一」の 栽培事例

＝青森県上北郡下田町  
山崎光世さん（60歳）＝

## 1 はじめに

青森県における大根作付け面積は年々増加の傾向にあり、平成元年度2,770 haでしたが、平成7年度は3,330 haになっております。特に太平洋側は5～7月にヤマセ（海からの湿った濃霧）の影響がある地帯で、春先の低温日照不足により果菜類はほとんど作付けされてなく、わりと悪天候でも安定して収穫できる根菜類の作付け面積が増加しております。

その中で大型機械を導入し生産性を高めている山崎光世さんを紹介させていただきます。

## 2 山崎 光世さんの経営概況

栽培面積は現在14 ha、その内、借地面積は7 ha、根菜類を主体に大根10 ha（2回作付）、人参10 ha（2回作付）、ゴボウ3 ha（1回作付）、キャベツ1 ha（1回作付）栽培し、人夫5人で個洗箱詰めし、農協、市場へ出荷しております。作業機

械はトラクター 95馬力2台, 65馬力1台, 26馬力1台, 大型プラウ1台, 今年購入した大根堀り取り機1台(時間当たり約4tの収穫量), 大根, 人参洗浄機…等々と大規模経営となっています(写真1)。

### 3 大根「喜太一」作付けに至った経過

山崎さんの住んでいる下田町は太平洋側に面したヤマセの来る地帯で, 春先低温による大根の抽苔が心配されております。その中で, 抽苔に強い T 340, ペっぴん等の品種を作付けしてはありますが, それらの品種はヒゲ根が多くて, 洗荷した後にまたヒゲ根を取る作業があるため, ヒゲ根を取らなくても済む品種があればすぐに作付けをしたいとの話があり, 昨年度, 青森経済連大根指定試験地『しんせい五戸農協』での S B 7015 (喜太一) が春播きでは, ヒゲ根, 揃い, 肌, 抽苔等の成績が一番とのデータを提示した際, ぜひ作付けしたいとの話になりました。

### 4 栽培経過

- ★ 3月18日播種 トンネルマルチ+パスライト  
収穫 6月1日 (作付け 50 a)
- ★ 4月10日播種 マルチ+パスライト  
収穫 6月15日 (作付け 40 a)
- ★ 6月10日播種 露地  
収穫 8月5日 (作付け 40 a)
- ★ 施肥 発酵堆肥(牛糞+鶏糞) 6 t (10 a)



写真1 山崎さんと大根堀り取り機械

	N	P	K
3月播種	12	12	12
4月 "	9	9	9
6月 "	5	5	5

(畝間 30 cm 株間 27 cm)

### 5 山崎さんの「喜太一」の評価

上記栽培して, 抽苔はなく非常に良かった。「喜太一」は播種後40~45日まで首が土の中にいて太って, その後, 首が出てくるので, 曲がりがない, 素直な大根ができた。農協, 市場からの評判が非常に良く, 何の品種かとよく聞かれることが多かった。また, ニンジン後の残肥がある畑でも, 腐れが少なかったので来年はもう少し遅く播種できると思う。欲をいえば, 首の青のりが薄く, 栽培日数が4~5日多くかかるとのこと。

来年は「喜太一」一本で播くので種子を十分用意してくれとの話を頂いております。

(雪印種苗(株) 十和田営業所 高橋 徹)

## 熊本県御船町における 春播き大根「喜太一」の 栽培事例

=熊本県上益城郡御船町

川部 誠さん (46歳) =

### 1 はじめに

適期播種, 労力(夫婦2人)に見合った無理のない耕作面積, そして、『技術より先に土つくれ』『選別は人格なり』を実践し, 地元市場より高い評価を得ている大根農家を紹介します。

### 2 産地の概要

熊本県御船町は県庁の所在地熊本市の東部15kmに位置し, 標高0mから600mという立地条件にありながら, 米麦中心の水田農業と筍, 栗プラス林業という経営が主体で, 県下では野菜産地と

しては後発の産地で、それだけに農家の産地づくりへの取り組みは必死です。

### 3 大根栽培への取り組み

昭和62年より養蚕に変わる新品目として標高300mの畑地を中心に栽培をはじめ、市場、種苗メーカーとの情報交換等も積極的に行い、高い評価を得ています。

### 4 栽培の概要

#### 1) 作型、耕種概要

大根の作型、栽培時期は図1のとおり。

#### 2) 元肥

ホウ素入り化成 (2-5-0)・80 kg/10 a

重焼燐・20 kg/10 a

石灰・80 kg/10 a

牛ふん完熟堆肥・2,000 kg/10 a

#### 3) 土づくり

堆肥の質にもこだわり、中熟以下の堆肥は絶対に使用せず、十分に発酵した堆肥だけを施用しています。

また、大根収穫後はグリーンソルゴーを作付けしたり、土づくりには人一倍熱心です。

#### 4) 出荷

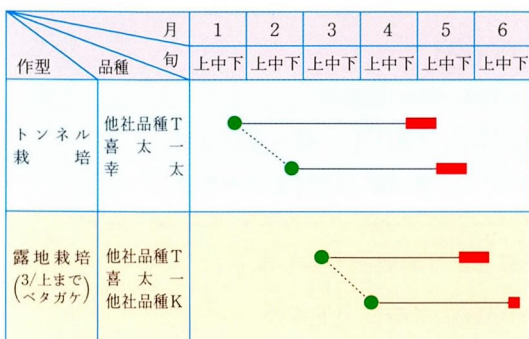
4月下旬より6月まで、日量1,000~1,500本を地元熊本市場へ出荷し、「喜太一」は従来の品種より肌がきれいで、揃い性が良く、徹底した選別がなされているため、市場で好評を得ることができました。



写真1 新品目として定着してきたトンネル春ダイコンの栽培



写真2 根がきれいに揃う「喜太一」



● 播種期 — 生育期 ■ 収穫期

トンネル栽培  
畦幅 220cm 4条  
条間 40cm 株間 27cm 約6,000本/10a

図1 大根の作型と栽培時期

### 5 今後の課題

年ごとに变化する気象条件の中で、いかに安定した作柄を維持し、消費者のニーズに合った安全性の高い大根を供給するか、また、「喜太一」の品種特性が十分発揮できる栽培管理の確認が挙げられます。

### 6 おわりに

今後も、持ち前の熱心さと探求心で地域に根づいた大根作りを貫いてもらえると思います。

そして、私どもも微力ながら園芸農家の良き相談相手になれるよう努力したいと考えます。

(雪印種苗(株) 西日本事業部 春田 実)